

2024年

岩手県消費者大会

消費者大会は年1回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

10月29日(火) 10:00～15:00 アイーナ7・8階

(盛岡市駅西通1-7-1 TEL 019-606-1717)

**参加
無料**

◆午前:分科会 10:00～11:45 5つの分科会から興味があるところへご参加ください。

- ①社会 保 障 問 題：このままでは保険料あつて介護なし!介護保険制度の改善を
- ②食 の 問 題：遺伝子操作した動物・作物って何?～くらしに与える影響を考えます～
- ③消 費 者 問 題：相続のギモン!?～トラブルに遭わないために
- ④震 災 ・ 防 災：報道からは見えてこない被災地の現状～能登半島の復興から支援を考える～
- ⑤人権・ジェンダー：ジェンダー平等の視点から職場・仕事・家庭での男女格差を考える

◆午後:全体会 13:00～15:00(小田島組☆ほ～る)



《竹信三恵子さんのプロフィール》

■1976年、朝日新聞社に入社。同社編集委員兼論説委員、和光大学教授などを経て2019年4月から和光大学名誉教授兼ジャーナリスト。働く場での性差別や非正規労働者の貧困問題に取り組み、2009年、一連の報道活動に対し貧困ジャーナリズム大賞。

■著書に「ルガ雇用劣化不況」(岩波新書)、「賃金破壊～労働運動を「犯罪」にする国」(旬報社、日隅一雄賞特別賞)など多数。最新刊に「女性不況サバイバル」(岩波新書)。

1. 基調講演

「ジェンダーと社会保障 ～生きやすい社会をつくるために～」

たけ のぶ み え こ

講師：ジャーナリスト・和光大学名誉教授 **竹信三恵子** さん

世界経済フォーラムが毎年発表しているジェンダー・ギャップ指数2024が公表され、日本は146カ国中118位。経済と政治の分野は低迷が継続し、男女格差が埋まっていない現状が改めて露呈しました。原因として、「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強いから」と多くの人が考えています(男女共同参画局調査)。「家事や育児・介護は妻がやるもの」と認識し、多くの女性が無償のケアを担っていました。日本では、育児や介護に携わる仕事の賃金が低く抑えられている現状があります。さらにコロナ下で、主に女性が担ってきたケアをめぐる労働環境は深刻な状況になっています。なぜケアの重要性が正当に評価されないのでしょうか。

「困っている層の女性の所得を改善することが多くのジェンダーの課題解決につながる」とおっしゃる竹信三恵子さんに、だれもが生きやすい社会になるためにはどうしたらいいのかをお話していただきます。竹信三恵子さんの講演を聞いてみんなで考え合ひましょう。

2. アピール提案

※参加は事前申し込みが必要です。裏面の申し込み用紙をご利用ください。

主催：岩手県消費者大会実行委員会(16団体)

後援：岩手県・盛岡市

【お問い合わせ】 岩手県消費者団体連絡協議会

〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3

TEL 019-684-2225 FAX 019-684-2227

メールアドレス：sn.isyodanren@todock.coop

《会場案内図》



分科会紹介 10:00~11:45

会場：アイーナ7階・8階

「身近なくらしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに参加して考え合いましょう！

第1分科会 『社会保障問題』 ～企画運営団体～ ・盛岡医療生協 ・岩手県母親大会連絡会 ・新日本婦人の会岩手県本部 会場 7階小田島組☆ほ～る	「このままでは保険料あつて介護なし!介護保険制度の改善を」 2024年4月に介護報酬が改定となり、訪問介護報酬が引き下げられ、ヘルパー事業所が全国で閉鎖に追い込まれています。「住み慣れた地域でくらし続けたい」という願いを支えるために、訪問介護は欠かせないサービスです。このままではまさに「保険料あつて介護なし」です。誰もが安心して介護が受けられるよう、介護保険制度の改善が必要です。みなさんで現状を知り学び、一緒に行動しましょう。 ◇話題提供 介護事業所関係者（予定） ◇意見交流
第2分科会 『食の問題』 ～企画運営団体～ ・JA岩手県女性組織協議会 ・岩手県生協連 ・岩手県学校生協 会場 7階702会議室（定員36名）	「遺伝子操作した動物・作物って何?～くらしに与える影響を考えます～」 日本は、アメリカから大量の「遺伝子組み換え作物」を輸入しており、油や加工食品となって私たちは知らぬ間に食べています。でも、国産品を買えばある程度避けられ、表示義務があるので消費者の選ぶ権利は保障されてきました。ところが、今度は「ゲノム編集食品」という新たな食品が現れ、国内での作付けや養殖・飼育が可能で、表示も不要とされ、日本の企業や大学の開発熱は高まっています。こうした食べ物は、経済効果がある、食料不足を救う、環境にいいなどとメリットばかり強調されていますが、本当にそうなのでしょうか?国内生産者や、消費者に与える影響を考えてみましょう。 ◇話題提供 吉田敏恵さん（岩手県生協連専務理事） ◇意見交流
第3分科会 『消費者問題』 ～企画運営団体～ ・消費者信用生協 ・岩手県労働者福祉協議会 ・盛岡大学生協 ・県立大学生協 会場 7階703会議室（定員36名）	「相続のギモン!?～トラブルに遭わないために」 相続は多くの人が経験する手続きですが、内容はよくわからないことだらけではありませんか?知識がないためにトラブルに遭う事例も多く、法律専門家への相談も絶えません。わたしたちが気を付けなければならないこと、いま準備しなければならないこと、改正された法律への理解など、実際の相談事例を交えながら、改めて「相続」について学びましょう。 ◇助言者 佐々木大介さん（岩手県司法書士会副会長） ◇意見交流
第4分科会 『震災・防災』 ～企画運営団体～ ・いわて生協 ・岩手労済生協 ・岩手大学生協 会場 8階810研修室（定員36名）	「報道からは見えてこない被災地の現状～能登半島の復興から支援を考える～」 今年1月1日に発生した能登半島地震から半年以上が経過しましたが、いまだに断水や道路復旧の遅れが続く、瓦礫の撤去すらされていない地域もあるなど、復興が進んでいないのは明らかです。今回は、全国で頻発する自然災害のたびに被災地域のくらしの復興支援に取り組んできた生協のみなさんとオンラインでつながり、能登の現状と現地で支援に携わった体験を聞いて、私たちに何ができるのか一緒に考えてみましょう。 ◇助言者 コープいしかわまたは日本生協連復興支援事務局（予定） 小野寺真さん（いわて生協） ◇意見交流
第5分科会 『人権・ジェンダー平等』 ～企画運営団体～ ・岩手県退職女性教職員の会 ・I女性会議 ・岩手県母と女性教職員の会 会場 8階801会議室（定員24名）	「ジェンダー平等の視点から職場・仕事・家庭での男女格差を考える」 日本のジェンダー・ギャップ指数は146力国中118位。相変わらず男女格差は大きいままです。なぜ日本の男女平等は進まないのでしょうか。今は小さい子どもを持つ女性でも7～8割が働いています。しかし、女性の管理職の比率は低いままです。女性が管理職になると女性の帰宅が遅くなり、家事が滞り家族が困るという思い込みがあるからです。昔から続く男だから、女だからという無意識の偏見をなくし、性別にかわりなく個性と能力を十分発揮できる社会にするために、私たちは何をすべきかともに考えていきましょう。 ◇話題提供 穂高マツヨさん（女性センターを実現する会(花巻)代表） ◇意見交流

参加申し込み：参加は事前申し込みが必要です。FAXまたはメールでお申し込みください。

【FAX】019-684-2227 【メールアドレス】sn.isyodanren@todock.coop

※全体会は、当日YouTubeでのライブ視聴参加も可能です（見逃し配信もあり）。視聴ご希望の方は、「お名前・電話番号・団体名・YouTubeでの視聴希望」とご記入のうえ、sn.i04553mm@todock.coopまでメールでお申し込みください。後日、URL、ID等をお知らせいたします

締 切 日：10月22日(火) ※定員（300名）になり次第締め切らせていただきます。

お 名 前	ご連絡先（電話番号等）	所属団体等	参加希望に○をつけてください		備考
			全体会	分科会	
				1. 社会保障 2. 食 3. 消費者 4. 震災・防災 5. 人権・ジェンダー平等	

* どなたでもご参加いただけます（参加無料）。お気軽にお申し込みください。

* FAXでお申し込みの方へは、参加をお断りする場合のみご連絡をさせていただきます。

* 分科会については事前に希望をとっていますが、申し込み多数の場合はほかの分科会にご移動いただく場合があります。ご了承ください。

* いただいた情報は消費者大会参加集約の目的以外には使用いたしません。

* 昼食は各自でお願いいたします。ご持参の場合は「小田島組☆ほ～る」をご利用ください。

* 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンライン講演、または中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。